

2024 10/21 和田正子さんとおしゃべり会 スペース

https://x.com/waka_chang/status/1848323195956564427

wakako／

こんばんはwakakoです。

ちょっとだけ、26区連連さんのアカウントで大丈夫か1回声を出してもらって大丈夫でしょうか。

わだ／

はい、こちら26蓮蓮のアカウントです聞こえてますか？

wakako／

大丈夫そうです。

では始めますね1回マイクをオフにしてもらっていいですか。

それでは始めたいと思います。

ちょっと待ってくださいねちょっと今原稿見失ってしまいましたこんばんはwakakoです10月27日日曜日は衆議院選挙です。

自民党の都合でとても乱暴な日程に早められてしまいました。

私が住んでいるのは目黒区です。

今回の衆議院選挙から目黒区全域と、大田区西部は東京26区という新しい選挙区に変わりました。

その東京26に、市民と立憲野党の統一候補として、日本共産党の和田正子さんが立候補されました。

今夜は、目黒区と大田区の東京26区市民連連のメンバーと和田雅子さんを招いてスペースでお喋りしたいと思います。

このスペースは録音を残しますので、ぜひシェアしていただけると嬉しいです。

また、情報保障としてUDトークがあるのでご利用くださいスペース内に固定しようと思います。急遽協力してくださったUDトークの皆さんありがとうございます。

では和田雅子さんに、まず自己紹介と今回立候補された理由をお聞きたいと思います。和田さん連日の街宣お疲れ様です。

わだ／

こんばんは。

日本共産党の和田正子です。

私は今回市民連合の皆さんから推薦をいただきまして、立候補いたしました。

立候補した理由っていうのは、私保育園で仕事をしておりまして、子供を子供大事にしない国だっ
てということには、常々怒りを持っていたんですけれども、やっぱり子供たちを守るためには、行動し
なければならないということで、区議会議員に立候補して、16年間、区議会議員として、仕事をしま
した今回はやはり裏金問題とかありましてね、もう許せないっていう思いで立候補いたしました。

wakako／

ありがとうございます。

東京26区は和田さんが立ってくだらない立候補してくださらないと、憲法を守るっていう候補
者がいない感じで、投票をどうしようって本当にずっと悩んでいたのが本当に和田さんが立候補し
てくれてありがたいなと思っております。

ではここから、和田さんと市民の方にクロストークをしてもらおうと思います。

鳥谷さんが入られて、いるかな？んと、鳥谷さんをスピーカーとして招待をしてって、ごめんなさ
い、うまくスピーカーとして招待できてないかな・・・

wakako

鳥谷さん喋れるようになりましたでしょうか。

とりや／はい、入ってます。

私も見えずにすいません。

ここから26 RENRENから鳥谷さんと、そして和田正子さんに一番他の候補と違う憲法について
ちょっとお話していただければと思いますここはとりやさんにおまかせします。

とりや／

ありがとうございます。

私は目黒区の住人なので、和田さんのことは今回立候補していただいてから知った次第ですけど
本当に子供たちを思う思いとか、責任感とか、ものすごく持たれていらっしゃる方に立っていただ
いて、本当に嬉しいと思ってます。

ありがとうございます。

本当に連日、お疲れ様です。

何かはいそうですね時間がもったいないので早速憲法の話とか平和外交について、うんお話をお
聞きしたいと思います。

すごくやっぱりもう本当に心配なのが、あの自民党の改憲案なんか見ると、本当に恐ろしいです
よね。

もう戦争の準備をするために、それから、もう天皇をいただいて、それから誰と誰が誰が上に来
るっていうような、今の前後と全く違う、あんなに優しくて美しい何か全文で始まる日本国憲法

が、これもう本当に戦争の準備をしてるとしか思えないようなことになってしまう本当におそろしいことなので。

本当にそういう・・・さん以外はもうそっちの方に行ってしまう候補者ばかりだと思っていたので、本当にだと思います。

そういう議員の方を1人でも増やさないと、はい。
本当に非力な市民なんですが、思ってます。

自民党がやっぱり(ごめんなさい、長くなっちゃって)あの自民党が改憲案を出すっていうこと自体がおかしいですね。

一番最後99条には、あくまでも国民が守られるべきであって、今、憲法っていうのはその権力者側が暴走しないように権力者側が守らないといけないようにそれは全然違うものに変えてしまうと、てるっていう本当に危機感を感じるんですが、まず、和田さんは、いかにお考えですか？この憲法改正について。

わだ／

そうですね自民党の人たちの考えていうか発言を見てますとね、しっかりと憲法解釈できてないんじゃないかというふうに思います。
それでやっぱりあの9条があったから、戦後70年、あの戦争しないで日本の国は戦争しないでこれたっていうこともありますのでね。

やっぱり特にあの9条は、うん、返送放棄をうたっていますのでね、やっぱり2度と戦争はしない。
それで武器は持たない。
ていう、交戦権も認めないっていうことも、しっかり言ってますので

やっぱりこれを、どうしてもここが自分たちがやろうとしてることが、この憲法9条が邪魔になってるっていうことで今躍起になって、これを変えようとしてるのではないかなというふうに思いますね。

自分たちがやりたいことっていうのは結局アメリカと一緒にあって、うん、あの戦争できる国にしていこうっていうことだと思うんですよ。

それで軍事費もどんどん増やして、2倍にもするっていう、そういうことも言ってますしそれで、お金もそういうふうに使えるお金をしっかりと確保しながら、法律法的にもやっぱり戦争ができるようにしていくっていう。

自衛隊をうん、アメリカ軍と一緒にね、やっぱり戦えるようにしていくために、9条が今、邪魔になってるっていうことで9条を変えようと、してるんだと思うんですよ。

そうですね。
やっぱり軍事費をどんどん増やして、いろんなあの武器を買ったりねそういうことをやってどこの

国ともその軍事の軍備の競争、をしていった先に、本当にその平和って、つかめるのかどうかね。
やっぱり平和があるのかどうかってことですよ。

とりや／ええ、本当ですよ。

わだ／お互いに思っそうするとうんっていうのはちょっとそうですねねあの決して抑止にならないですよ。

お互いにそうやって軍事力を強めていけば、

とりや／エスカレートして違いますねそれで何か一発ね触発っていうんな男なんかもすごく怖いんですよはい

とりや／ですよやはり戦争が始まったときに大人だった人が、子どもさんが何か、「何であの戦争とめれなかったの」って、素朴な質問をしたっていう話を聞いたことがあってそうすると、いやなんか知らない間に始まってたんだって言われたとそうなのかもしれないけど、でもでもその人は言っていましたねいや、いやそうかもしれないけどそんなことはないでしょうと。

なので私達も何か今そこにすごくいるような気がするので、うんうんそその気なんか、怖さに目を向けない人が多いと思うんですけど、やっぱりそうするとあれですよ本当に繰り返しちゃいけないのでこの79年間も戦争しないでね、来たっていうことはね本当に終わらしちゃ駄目ですよ。そうですね。

とりや／

(なんかすごいごめんなさい時間が多分押しちゃってると思うんですこのまま私が何かもうお聞きしたいこといっぱい聞くと、時間がオーバーしちゃうと思うので)

憲法に関して和田さんの一番強い思いの強いところ教えていただけますか他に90条以外に

わだ／やはり今社会保障がね、うん。

すごく悪くなっていますよね。

うん。

そういう中で高齢特に高齢者の皆さんが今、暮らしの問題では深刻になってきてますので、そういう点では、高齢者だけじゃないですけども若い人も含めてですね、やっぱり25条の全ての国民はね、健康で文化的な生活を営む権利があるんだっていうこと、国はね自治体はそれを守らなければならぬっていうねそのところがやっぱり今もう、おろそかに

wakako

おろそかにされてますよね、おろそかにされているなっていうのはすごく感じますよねですね。

もうぜひ和田さん国会行っただいて、お仕事していただきたいです。

はい、ありがとうございますはい、ありがとうございます。

wakakoさん。

多分お時間かなと思います。

鳥谷さん、ありがとうございました。

wakako／

ここからは、鳥谷さんと26 RENRENの歌子さんに、ジェンダー平等のことについてちょっとお喋りしてもらいたと思います。
歌子さんよろしくお願いします。

ながお／はい、鳥谷さんっていうか和田さんと私ですかね。

はい。

では始めます。

ながお／

和田さんに質問です。

何か質問の前に、2023年だと、衆議院議員の国会議員のうち、女性って大体1割参議院だと26.7%って言うから、2割は超えてるけれど3割いかないみたいな、すごいアンバランスな状況で、この国会議員の議員数だけ見ても、ジェンダー不平等じゃないかみたいに言えるんですが

あの和田さん最近、あの街頭のスピーチの中で、男女の生涯賃金が1億円違うという話をされてました。

和田さん日本共産党は、この男女の賃金格差を
どんなふうに解消しようとお考えですか。

わだ／はい、街頭でもいつもねお話するんですけども、やはり私の周りの特に女性の高齢者がの暮らしが今、本当に深刻になってるんですね。

もう本当に節約してこれ以上節約することがもうできないっていうように、そのそういう中で物価も上がってきてるっていうこともありますのでなぜこの特に女性の高齢者の貧困問題が深刻なのかっていうところを考えますとやっぱり働いているときも、正規の労働者として働いているときも、男女の比が、格差があるということと、それが年金にも連動してますので、賃金の格差がそのまま年金の格差に繋がっているということが大きな問題だと思うんですね。

やっぱりあの人間らしく暮らしていけるためには、全体の年金も引き上げなければならないんですけども、特にあの高齢者のところでは女性のところではね、やっぱりこれ解決するには、賃金格差をまず解決するということが大事だと思うんですね。

男性も女性も、正規の労働者も非正規の労働者も同一労働同一賃金っていうことをね、やっぱりしっかり政治が責任を持つということが大事だと思います。
うんなんか共産党は非正規を正規に変えるっていうことが結構大きく掲げてますよね。

和田／

ですねそれが結局ね経済を良くすることにもつ繋がりますからねすごく大事だと思いますよね。

特にあの女性は、ね出産をしたり、子どもをあのすごい育児をしたりっていうことで、どうしても一旦退職をしなければならないっていう方が割と多いんじゃないかと思うんですね。

それで退職を一旦して、今度、子供も大きくなったのでって再就職するときには、もうほとんど非正規になってしまうっていうのが今のね現状ですよ。

だからそういう点ではやはり女性の年金も少なくなるっていうふうになってくると思うんですねだからこれはもう国、国のことを考えたとしてもね、うん。

やっぱりみんなが正規で働いて、きちんと年金のお金もね払って税金も払ってっていうことになれば、もっとやっぱり豊かな暮らしができるようになるんじゃないかと思うんですけども本当に何をどう考えてるのかなっていうふうに私は思っていますだからぜひあの働いているときの労働賃金もの格差をなくすっていうことと、やっぱりあの最終職をするときには、正社員として正規の労働者として働けるようにしていくことが、解決策かなと思ってますけどね。

ながお／ありがとうございます。あと二つぐらいお聞きしたいというふうに思うんですが、もう一つが、あの自民党の総裁選でも話題になった、選択的夫婦別姓の問題です。もちろん同性ですけど、

女性がやっぱり結婚するときに名字を変えるっていうのが95%ぐらいなので圧倒的に多いんですよ。

そういった中で、女性の中では、やっぱり自分の結婚前の名字をそのまま使いたいっていう人もいる一方で、

なかなかですね、これ選択的夫婦別姓って、認められてない。

実は国会ではもう25年前から法制審議会やってるんだけど、25年経っても、あの実現してないみたいな、現状どう思いますか。

そうですねもう、世論調査をしてもね、やっぱり当たり前の、当たり前じゃないかっていうような声がね、大きいものにも関わらず、やっぱり自民党がそれをその課題を先送りしてるっていうことだと思うんですね。

ながお／自民党の総裁選挙で、あんな論点にすること自体が、なんかちょっと腹立ちますよね。ですよ。

なんかあなたたち今までやってこなかったのにとか思うんですよ

和田／そうですね。

わだ／だから、なんかねやっぱり自民党の人たちっていうのは、もう実際時間がね止まってるんじゃないかっていう、いろいろなね同性婚なんかも含めてね

わだ／ええ、どうもなんかもう一昔2昔前のときから時間が止まってるんじゃないかと。いうふうに思いますね。

今話に出た同性婚についても聞きたいんですけどオランダとかではもう2001年から同性婚認めるみたいな流れになってきて、結構続々とですね世界各国で同性婚を認めるようになってきて

るけど、うん、結構日本では反対の人が多くて、26区の和田さん以外の候補者は回答しない、もしくは明確に反対っていう人ばかりなんですよ。この辺和田さんはどう思いますか。

わだ／本当にだから、さっきも言いましたようにね一昔ふた昔の かんがえかた もずっとあるのかなっていうふうに思いますし、

それとやっぱりある団体がね、自民党に対して、「そういうものを認めないようにするんだったら応援するよ」というね、そういう圧力もねかかっているみたいですけどもね。

やっぱり同性婚、結婚のあり方っていうか、家庭のあり方っていうのもいろいろあっていいと思うんですよ。
だから結婚するのもねその方の考え方だししない人もする人も、いろいろいていいと思うんですよね。

実は私も息子が3人おりまして、50代40代、40代が2人と50代がいるんですけど、まだ結婚はしてません。
でもそれはそれで本人がそういう選択をしてるってことだから別にね、早く結婚しなさいって私は言いません。

でも、周りの中であの子どもが結婚しないのは、「あなたの育て方が悪いのよ」とって

ながお／そんなこと言う人いるんですか
和田／言われたことはあります。

でもそんなことはないですよだからいろんな形があってもいいんじゃないかなってふうに私は思ってますけどねそうです。

やっぱり自分が生きたい自分の人生は自分で決める。

それを親ももちろんだけれど、国から決められたくないってすごい思いますよね何かあなたの幸せはこれだっていうふうに決める権利は、私以外に他の人が決める、国が決めるのおかしいだろうってすごい思う。

同性婚の方たち、本当に「結婚の自由っていうのを自分たちに認めてください」というふうに言っているのには、本当にちょっと、訴訟とかもやってる方達いるんですけど、胸をつれるような本当に思いがあるので、同性婚を認める民法改正が早く実現したらいいなっていうふうに私自身も強く思います。

ながお／
そうですね、はい。
というようなところで次のパートをお願いします。

wakako／

はい。

うたこさん、ありがとうございました。

ここからは、私wakakoが和田さんに、原発とかその災害とかのことについてちょっとお聞きしたいと思いますよろしくお願いします。

私は生まれた場所が青森県で、原発の立地県なんですね原発というか、関連施設がいっぱいあるようなところで、なので、ずっと

なんだろうな。

国にいいように、何かやられてきたみたいなのが子供のときから感じていて。

なので、選挙のときは絶対にあの原発に反対ってちゃんと言ってる人にしか投票しないように、その投票権を得たときからしてたんですけど、今回は、は、うん、どうしようって悩んでいたのが誰も入れたい人がいないっていう人に、「あの、ちゃんと投票に行ってください」って言ってただけど、今回は自分が投票するのもどうしようって思うくらいちょっと26区は悩んでいて、なので、その原発とかに関しても、和田さんが出てくれてよかったなと思っています。

和田さんご出身が福島なんですよ。

なのでですね、はい、その辺の話をちょっとお聞かせいただけますか。

わだ／はい。

私古里がですね出身地が福島で県で、それもあの原発の事故のあったところから、30キロぐらいのところが私が生まれて育ったところなんですよ。

だからあの原発の事故があったときには家族も避難をしました。

卒業した高校が双葉高校っていうところで、本当に3キロしか離れていないところにある高校だったんですよ。

だから、放射能がやっぱり汚染され、放射能汚染がされてるっていうことで、そこにはもう、入れないっていうことで高校はもう廃校になっています。

だからそういうことも経験してきてますのでね、絶対2個の原発再稼働をさせないという思い、それから原発をなくしていくっていう思いはすごい強く持ってます。

wakako／

ありがとうございます。

この前、今年頭に能登半島地震があったときにすぐは珠洲市は本当はあの原発を作ろうとされていてでも、市民が運動したことで作られなくてそれであんな大きな地震だったけど幸い原発の事故はなかったんですよ。

なのでその原発と災害とかその災害の避難とかについてちょっと和田さんの考えを教えていただけますか。

わだ／

そうですね、本当に能登のね、あれはもうもう今もまだ避難している避難所で生活している人もねたくさんいますからね。

だから本当に映像なんかを見ると、もう腹が立つ思いです。

それで福島原発のときもそうなんですけれども、やっぱり国から見捨てられたっていう思いがね、やっぱり被災をした方っていうのは、あのすごく感じているみたいですね。

私はやっぱり自然災害は防ぐことはできませんけれども、でもやっぱりその、災害、自然災害のときに、極力そのあの被害を小さくしようっていうね、日頃からの対策っていうのはできるんだと思うんですよ。

でもそれもやっぱりやっていないっていうのもありますけど、特に災害が起きたときの対応がね、非常にねやっぱり日本はね、学んでないっていう感じはします

私は、いろいろなこの、この前もこの間もですね、原発事故のこともありますけれどもいろんな熊本だとか、そういうところでも、やっぱり大きな地震があって、住民が避難しなければいけないということはありましたけれども、何か同じことを繰り返してるっていうか、避難所の対応とかもなぜこんなに学ばない国なのかなっていうのをすごく感じますよね。

だから今度の能登のとき、この災害もですね、もう国を挙げて総力を挙げて1日も早く、やっぱり支援をするっていうそういうことをやらなければならないはずだったと、思うんですよ。

それをやらないで解散総選挙するなんていうのは、本当にあの被災をした人の気持ちがわかってないし、あの現状もよく把握してないんじゃないかなというふうに、すごく怒りを感ずります。

wakako／ありがとうございます。

本当にあのニュースとかでも能登の方たちが選挙が今回早まったことで、がっかりされてるようなのをいくつかニュースで見てそうだなと思っていました。

あと、和田さんにお聞きしたいのが、この核禁条約についてもちょっとお聞きしたいんですけども、日本って唯一の戦争被爆国なのに、あのオブザーバー参加すらしてないですね。

はい。

その辺のことをちょっと教えていただけますか。

わだ／

はい、もう日本の態度がね、本当に信じられないですね。

世界で、たった一つ、その戦争のための被ばくをした国だっていうことなんですから、いち早く批准すべき国だと思うんですね。

でもそれをね日本政府はやってないという。
ことで、やはりあの、アメリカに忬度してるのかなって感じもしますね。

アメリカが落とした原子爆弾ですから、それではい被爆者の声を聞いても、アメリカの方を向いているという。
こともあるのかなっていうふうに思いますよ。

でもやっぱり世界、世界中が、今もう核兵器はなくそうっていうのが、大きな声になってますからね。
そういう点では、非常に恥ずかしい日本の政府ですけども、でももう絶対に早くこの批准させるように頑張らなきゃいけないなっていうふうに思います。

wakako／
ありがとうございます。
原発に反対だとか、核禁条約に日本に参加してもらいたって思っている方は、ぜひ和田さんにその1票を託してもらいたいと思います。

では、和田さんに、最後に締めの一言をいただきたいんですけども。

わだ／
はい、どうもありがとうございました。
もう選挙戦も中盤になってきましたけれども、街頭で訴えていますとね、特に女性の方が手を振ったり、お辞儀をしたりして、答えてくれてるなっていうのをすごく、ここ1日、1日2日の間にすごく増えてきたというふうに思ってます。

やはり女性の方、子供を産み育てる、いよいよすともありますかもしれないんですけども、やっぱりあの女性の方がこの戦争を本当にやらないで欲しいっていうことだとか、あの原発をなくしてほしいというね、そういう思いっていうのは強いのかなっていうふうに思ってます。
平和の問題もそうですけれどもやっぱり暮らしの問題ももう緊急の課題ですので、ぜひこういう点を訴えて、もう頑張って勝ち抜きたいというふうに思ってます。
どうぞよろしくお願いします。

wakako／和田正子さん、ありがとうございました頑張ってください最初に言いましたが、東京26区は目黒区と大田区の西部にまたがる、新しい選挙区です。

いくつか私からご案内します。
このスペースは録音残しますので、ぜひシェアしたりしていただけると嬉しいです。

あと、期日前投票が目黒区でも、大田区でも始まっています。
目黒区と大田区、両方とも投票所入場券っていうものの、発送が遅れてますけれども、この入場券がなくて、手ぶらで行っても投票はできますので、これは期日前投票も当日投票もそうなので、ぜひ

入場券が来ていなくても投票諦めないで欲しいなと思います。

あと、今、スペースの中に固定していますが、和田さん関連のSNSのアカウントのフォローやシェアをお願いします。

あとYouTubeのチャンネルもありますので、登録や視聴や、高評価をお願いします。

今、明日の和田さんの予定だけちょっとお知らせします。

明日和田さんは、17時半から18時に大岡山っていう駅で、市民の方たちとトーク街宣をされます。

和田さんは最初に言いましたが、日本共産党の方ですけどもこの東京26区の市民が応援している候補者になります。どうぞよろしくお願いいたします

今日話題にした憲法を守りたいとか、平和を守りたいとかジェンダー平等とか原発、生活を守る、そんな思いを持っている方はぜひ和田正子さんを応援して、国会に押し上げてもらいたいと思います。

よろしくお願いします。

UDトークの、本当に急遽手伝ってくれてくださってるチームの皆さんもありがとうございます。
それでは、これでスペースを終わります。

ありがとうございました。

よろしく おねがい します。

ありがとうございました。

ありがとうございました

UDトーク校正チーム

ちゃゆ、ハチワレのぽぽち、Team健太郎、rina、maa ※順不同

[なにかありましたらmaa@mayhand25 まで]